

\*\*\*\*\*

## ♪どれみふあそったくん♪

～子どものための

アウトリーチ～

\*\*\*\*\*

### 第1章 プロジェクトの概要など

#### 1. プロジェクトの名称、目的など

##### (1)名称

♪どれみふあそったくん♪

～子どものためのアウトリーチ～

##### (2)目的

地方の小学校、及び福祉施設の子どものなど、普段生の演奏を聞く機会の少ないと思われる子ども達に向けて出張で演奏会を行い、子ども達にとってよき音楽体験となる機会を提供する。

ただ聴くだけの鑑賞会にとどまらず、楽器のしくみや音楽の歴史について知るなど学習の面を持ち、生涯学習としての視点を意識し音楽に関わることのできる場面を設けるなど、よき音楽体験として子どもたちに変化をもたらす機会となり得るよう留意する。

また、それぞれのニーズにどう応じられるか、主催する側の意向をどこまで実施できたか、以上の3つの視点を持って活動を行い、実践を通して報告する。

##### (3)方法

- ①実施先とアポイントメントを取る。現場のニーズを把握する。
- ②現場のニーズに応じた活動や演奏会の企画案を作成し、実施に向けた準備をする。
- ③現場の方に企画内容を確認して頂き、企画案を修正し改善案を作成する。
- ④活動実施後、現場のニーズに答えられているか、学習の面はあるか、参加型であるかという3つの

視点から分析を行う。

#### 2. 代表者および構成員

##### ・代表者

杉本瑞樹	音楽領域専攻	2回生
鈴木淳之介	音楽領域専攻	3回生

##### ・構成員（運営・演奏）

鶴丸優月	音楽領域専攻	4回生
植道 栞	音楽領域専攻	4回生
井上愛織	音楽領域専攻	3回生
梅原 瞭	音楽領域専攻	3回生
奥わかば	音楽領域専攻	3回生
小國莉子	音楽領域専攻	3回生
角谷泉実	音楽領域専攻	3回生
喜多美月	音楽領域専攻	3回生
樹山仁実	音楽領域専攻	3回生
小嶋泰地	音楽領域専攻	3回生
布上大雅	音楽領域専攻	3回生
濱田虹音	音楽領域専攻	3回生
東 菜子	音楽領域専攻	3回生
村上智美	音楽領域専攻	3回生
村中七虹	音楽領域専攻	3回生
泉川真緒	音楽領域専攻	2回生
植田亜由美	音楽領域専攻	2回生
川原結満	音楽領域専攻	2回生
小島美優羽	音楽領域専攻	2回生
坂口瑛花	音楽領域専攻	2回生
佐久間花菜	音楽領域専攻	2回生
佐藤舞	音楽領域専攻	2回生
柴田遥華	音楽領域専攻	2回生
多田初穂	音楽領域専攻	2回生
谷口茉鈴	音楽領域専攻	2回生
角田優愛	音楽領域専攻	2回生
中谷優友	音楽領域専攻	2回生
船井徳佳	音楽領域専攻	2回生
村田若菜	音楽領域専攻	2回生
細田基	理科領域専攻	1回生
今尾香月	音楽領域専攻	1回生
小川友菜	音楽領域専攻	1回生
金崎真侑	音楽領域専攻	1回生

川北春優人	音楽領域専攻	1回生
北川瑞葉	音楽領域専攻	1回生
栗山萌果	音楽領域専攻	1回生
参田のあ	音楽領域専攻	1回生
清水咲葉	音楽領域専攻	1回生
砂田梨帆	音楽領域専攻	1回生
武波敬	音楽領域専攻	1回生
西村日菜乃	音楽領域専攻	1回生

### 3. 助言教員

田邊織恵教員（音楽科）

### 4. アウトリーチについて

Out（外へ）reach（手を差し出す）という意味の英語である。元々社会福祉の分野で行われる地域社会への奉仕活動や教育普及活動などの意味で用いられていた。現在では、現場へ出向いて活動する「訪問○○」「出前○○」といった受け手のニーズに合わせた取り組みも指す。<sup>(1)</sup>

音楽分野でのアウトリーチ活動とは、音楽家や音楽団体などが音楽に普段触れる機会の少ない人々に働きかけ、音楽を普及することであり、さらに提供者と享受者が対等な立場で一緒に楽しむという双方向的なスタンスが特徴である。

## 第2章 内容や実施経過など

（4月）活動参加アンケート実施

（5月）構成員全員で今年度の活動計画会議

（6月）桃山学園「音楽演奏会」

（8月）いちょうの会

（11月）桃山学園「第62回桃山学園祭」・山科「もみじ祭り」・京都市立南太秦小学校「50周年記念式典 第2部音楽演奏会」・

（11月～12月）京都市立洛央小学校との打ち合わせ、訪問演奏

## 第3章 結果や成果など

### 1. 桃山学園「音楽演奏会」

#### （1）実施までの流れ

本構成員が桃山学園で補助員をしており、その繋がりから、どれみふぁそったくんに依頼をいただいた。皆で演奏が出来る音楽会チックなイベントがで、

子どもたちが思い思いにいろいろなもので音を出して遊ぶことができれば、というご依頼をいただいた。そのため聴き馴染みのある曲から、楽器クイズ、みんなが歌って踊れる《パプリカ》を演奏した。

#### （2）実施内容

①日時 2022年6月10日（土）

11時～11時30分

②対象 幼稚園～小学校の児童（約30名）

#### ③演奏内容

1. クリステン・アンダーソン＝ロペス、ロバート・ロペス作詞作曲《レット・イット・ゴー》  
／演奏形態・吹奏楽

#### 楽器紹介

2. リチャード・ロジャース作曲《エーデルワイス》  
／演奏形態・フルートソロ

3. チャイコフスキー作曲《白鳥の湖》／演奏形態・オーボエソロ

4. アラン・メンケン作曲《ホールニューワールド》  
／演奏形態・サクソ2重奏

#### 歌

5. ナポリ民謡《オーソレミオ》／演奏形態・バリトンソロ

6. 武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲《花》／演奏形態・2重唱

#### 演奏

7. LISA 作詞作曲《紅蓮華》／演奏形態・吹奏楽  
一緒に踊ろう

8. 米津玄師作詞作曲《パプリカ》／演奏圭太・吹奏楽&歌

#### ④演奏者

梅原瞭・角谷泉実・角田優愛・北川瑞葉・今尾香月・外部、井口真緒

### 2. NPO法人ハーモニーきょうと「いちょうの会」

#### （1）実施までの流れ

昨年にも依頼をいただき、今年も演奏してほしいとご連絡いただいた。障がいを持っている子ども達と高齢者の方を対象とした演奏会で、幅広い世代の音楽をプログラムに入れることを工夫した。演奏当日では、聴いてくださる方との距離が近く、パプリカでは振付を真似してくださり、一緒になって楽

しむことができた。

(2) 実施内容

①日時 2023年8月27日(日)

13時30分～14時

②対象 高齢者、児童(約10名)

③演奏内容

9. LISA 作曲《紅蓮華》/演奏形態・合奏

楽器紹介

10. 《ディズニーメドレー》/演奏形態・ピアノ連弾

11. 久石譲作曲《さんぽ》/演奏形態・アンサンブル

12. 吉岡弘行作曲《大阪風お好み焼き》/演奏形態・  
混声4部合唱

13. 中田喜直作曲《夏の思い出》/演奏形態・ソプラ  
ノ

14. 宮原晃一郎作詞《われは海の子》/演奏形態・バリ  
トン

15. モーツァルト作曲、オペラ魔笛より《パパパの2  
重唱》/演奏形態・ソプラノ&バリトン

16. 村井邦彦作曲《翼をください》/演奏形態・ミニ  
オーケストラ&合唱

17. 米津玄師作曲《パプリカ》/演奏形態・ミニオー  
ケストラ&合唱

アンコール

18. 源田俊一郎作曲《ふるさとの四季》/演奏形態・  
混声4部合唱

④演奏者

鈴木淳之介・布上大雅・梅原瞭・小國莉子・坂口瑛  
花・植田亜由美・小川友菜・今尾香月

⑤展開

1枚目、楽器紹介



3. 桃山学園「第62回桃山学園祭」

(1) 実施までの流れ

本構成員が桃山学園で補助員をしており、その繋がりから、どれみふぁそったくんに依頼をいただいた。地域に開かれたお祭りであり、たくさんの児童や保護者を対象にしたプログラムを考えた。お祭りということで聴いてくれている人が楽しい、また目でも楽しんでもらえるようにプログラムを工夫した。

(2) 実施内容

①日時 2023年11月3日(日)

12時15分～12時45分

②対象 桃山学園の子ども、地域の方々(約30名)

③演奏内容

1. リチャード・ロジャース作曲《ドレミの歌》/演奏  
形態・ミニオーケストラ&合唱

2. 吉岡弘行作曲《大阪風お好み焼き》/演奏形態・  
混声4部合唱

3. 葉加瀬太郎作曲《情熱大陸》/演奏形態・弦楽器  
2重奏

4. ジミー・ドッド作曲《ミッキーマウスマーチ》/  
演奏形態・管楽器合奏

5. 打楽器ソロ/打楽器2重奏

6. ジュゼッペ・ヴェルディ作曲《椿姫》/演奏形態・  
合唱

7. J.シュトラウス1世作曲《ラデツキー行進曲》  
/演奏形態・合奏

④演奏者

鈴木淳之介・梅原瞭・小嶋泰地・多田初穂・川原結満・谷口茉鈴・坂口瑛花・角田優愛・杉本瑞樹・吉村美咲・小川友菜・金崎真侑帆・川北春優人・北川瑞葉・今尾香月

#### ⑤展開

1 枚目, 乾杯の歌



#### 4.山科「もみじ祭り」

##### (1) 実施までの流れ

本構成員の母親からの依頼で、山科の「もみじ祭り」への依頼をいただいた。地域の子も達やその保護者、高齢者の方々など幅広い年代の人々に向けての演奏になった。お祭りということで聴いてくれる人が楽しい、また目でも楽しんでもらえるようにプログラムを工夫した。

##### (2) 実施内容

①日時 2023年11月19日(日)

11時15分～11時45分

②対象 地域の方々(約40名)

##### ③演奏内容

8. リチャード・ロジャース作曲《ドレミの歌》/演奏形態・ミニオーケストラ&合唱
9. 吉岡弘行作曲《大阪風お好み焼き》/演奏形態・混声4部合唱
10. アラン・メンケン作曲《ホール・ニュー・ワールド》/演奏形態・弦楽器2重奏
11. ジミー・ドッド作曲《ミッキーマウスマーチ》/演奏形態・管楽器合奏
12. J.シュトラウス1世作曲《ラデツキー行進曲》/演奏形態・合奏
13. LISA 作曲《紅蓮華》/演奏形態・合奏
14. タケカワユキヒデ作曲《銀河鉄道999》/演奏形

態・ミニオーケストラ&合唱

#### ④演奏者

小國莉子・川原結満・谷口茉鈴・坂口瑛花・角田優愛・杉本瑞樹・植田亜由美・吉村美咲・柴田遥華・小川友菜・金崎真侑・砂田梨帆・川北春優人・西村日菜乃・栗山萌果

#### ⑤展開

1 枚目,大阪風お好み焼き

2 枚目,紅蓮華



#### 5.京都市立南太秦小学校「創立50周年記念式典第2部音楽演奏会」

##### (1) 実施までの流れ

南太秦小学校の校長先生から本大学の教員にご連絡をいただき、どれみふぁそったくを紹介していただいた。校長先生によると、身近な小学校で大学生による演奏会が開催され、大好評であったことを耳にし、それから機会があれば頼みたいと考えていたようだ。在校生1年～6年生と来賓の方、約300人が対象で、50周年記念式典の第2部として1時間の演奏会であった。1年生から6年生と今までに実施してきた中でとても年齢に幅が広く、どの学年でも楽しめるような曲を中心に選んだ。そのために教科書掲載曲であるシャボン玉やトルコ行進曲、ラデ

ツキー行進曲、エンターテイナー、パパパの2重唱などから、全校合唱に選ばれている「ありがとうの花」、そして「南太秦小学校校歌」をミニオーケストラにアレンジして児童と一緒に歌う工夫をした。楽器クイズや、学校で使用する身近にある楽器を使った演奏、そして様々な国が舞台になっている音楽を演奏することで、より音楽に関心をもってもらえるように努めた。

## (2) 実施内容

- ①日時 2023年11月24日(金)  
10時45分～11時45分
- ②対象 小学校1～6年生、来賓の方(計約300人)
- ③演奏内容

### ----第1部 器楽編----

1. J.シュトラウス1世作曲《ラデツキー行進曲》  
／演奏形態・ミニオーケストラ  
\*児童と手拍子  
*楽器紹介クイズ*
2. フランス民謡《クラリネットを壊しちゃった》  
／演奏形態・クラリネットソロ
3. スコット・ジョプリン作曲《エンターテイナー》  
／演奏形態・アンサンブル(サクソ&トロンボーン)
4. フランス民謡《きらきら星》  
／演奏形態・フルートソロ
5. ファジル・サイ《トルコ行進曲ジャズ風》  
／演奏形態・ピアノソロ  
*身近な楽器*
6. 久石譲作曲《風の通り道》  
／演奏形態ヴィオラソロ
7. アメリカ民謡《アルプス一万尺》  
／演奏形態・木琴8手
8. ルロイ・アンダーソン作曲《トランペット吹きの休日》  
／演奏形態・アンサンブル(鍵盤ハーモニカ・リコーダー・ピアノ)  
*児童と一緒に歌う*
9. 相場大作詞、小島博作曲《南太秦小学校校歌》  
／演奏形態・ミニオーケストラ&合唱  
*----第2部 声楽編----*
10. 源田俊一郎作曲《ふるさとの四季》  
／演奏形態・

混声4部合唱

### 各声域の紹介と、様々な国を舞台した曲

11. モーツァルト作曲、オペラ魔笛より《パパパの2重唱》  
／演奏形態・ソプラノ+バリトン
12. ジョルジュ・ビゼー作曲 カルメンより《闘牛士の歌》  
／演奏形態・バリトンソロ
13. アラン・メンケン作曲《ホール・ニュー・ワールド》  
／演奏形態・テノール&ソプラノ
14. 野口雨情作詞、中山晋平作曲《シャボン玉》  
／演奏形態・ソプラノソロ
15. ジャコモ・プッチーニ作曲、オペラ「トゥーランドット」より《誰も寝てはならぬ》  
／演奏形態・テノールソロ
16. ジュゼッペ・ヴェルディ作曲《椿姫》  
／演奏形態・合唱  
*児童と一緒に歌う*
17. 阪田修作曲《ありがとうの花》  
／演奏形態・ミニオーケストラ&合唱  
*アンコール*
18. LISA 作曲《紅蓮華》  
／演奏形態・ミニオーケストラ

## ④ 演奏者

鈴木淳之介・植道栞・鶴丸優月・小國莉子・梅原瞭  
角谷泉実・小嶋泰地・喜多美月・杉本瑞樹・坂口瑛花・植田亜由美

## 6. 京都教育大学附属特別支援学校

### (1) 実施までの流れ

これまでどれみふあそったくくでは、子どもたちにとってより良いアプローチができるよう様々な工夫を行ってきた。しかし、自分たちで考える企画だけではどうしても単調になってしまい、企画をこれ以上レベルアップさせることには限界があるように感じた。そこで、プロの演奏家をお呼びし、ともに演奏する中でその工夫やアプローチを学習する機会が必要だと考えた。そして、特別支援学校からの提案もあり、プロでありながら子どもたちへ向けた音楽活動も行っている「パノラマとラボラトリー」をお呼びすることとなった。この演奏会では、「パノラマとラボラトリー」の代表坪井洋と話し合いながら、プログラム作成に努めた。その中で私たちどれみふ

あそったくんは、合唱でプロの方々と共に演奏したり、クリスマスにちなんだ衣装でダンスを踊ったりと自分たちの人数の多さを活かした工夫を行った。また、演奏会の後にインタビュー形式で講演会を行い、「パノラマとラボラトリー」の皆さんの、子どものための演奏についての考え方、新たな形態のプログラムの案など様々なことを学ばせていただく貴重な機会となった。



- ① 日時 2023年12月13日(水)  
13時50分～14時40分
- ② 対象 京都教育大学附属特別支援学校の生徒(30名程度)
- ③ 演奏内容
  1. ウェルカムミュージック(公演前の場づくり)
  2. リズムあそび(簡単～高度)
  3. アニメメドレー《アイドル》・《紅蓮華》・《新時代》／演奏形態・楽器&歌
  4. パノラマとラボラトリー作曲《AM.9時 白い朝》／演奏形態・楽器&歌
  5. 即興デモンストレーション
  6. 「特別支援学校校歌」アレンジ／演奏形態・楽器&歌
  7. クリスマスメドレー《We wish a merry Christmas》・《ジングルベル》・《赤鼻のトナカイ》／演奏形態・楽器&合唱
  8. 荒井由実作曲《やさしさに包まれたなら》／演奏形態・楽器&合唱

※どれみふあそったくんはプログラム7・8のみ出演しました

- ④ 演奏者  
「パノラマとラボラトリー」: ドラム坪井洋・キーボード森田珠美・ヴォーカル aya  
「どれみふあそったくん♪」: 鈴木淳之介・梅原瞭・小國莉子・杉本瑞樹・角田優愛・坂口瑛花・吉村美咲・中谷優友・小川友菜・武波敬
- ⑤ 展開  
1枚目、クリスマスメドレー

## 7. 幼児教育専攻主催「うたとおはなしの会」

### (1) 実施までの流れ

どれみふあそったくん♪は、昨年度より幼児教育専攻の主催である「うたとおはなしの会」に何度か参加させていただいていた。今回はクリスマスにちなんだ演目を披露したいという、幼児教育の方のご意向のもと、再び演奏する機会をいただいた。幅広い層が知っているクリスマスの曲を演奏したり、サンタクロースや動物たちになりきって演奏を届けたりすることで、幼児だけでなく一緒に来ている保護者の方にも楽しんでいただけるよう工夫を行った。

- ① 日時 2023年12月16日(金)  
10時15分～11時30分
- ② 対象 地域の幼児・その保護者
- ③ 演奏内容

#### 登場

1. 《もろびとこぞりて》／演奏形態・合奏  
楽器紹介
2. 新沢としひこ作曲《クリスマスの歌が聞こえて来るよ》／演奏形態・楽器&歌  
クリスマスメドレー
3. ジョニー・マークスとハリー・ブラノン作曲《赤鼻のトナカイ》・Haven Gillespie と Fred Coots 作曲《サンタが街にやってくる》メドレー／演奏形態・楽器&歌  
一緒に演奏
4. しゅうさえこ作曲《おもちゃのチャチャチャ》／演奏形態・楽器&歌  
・子どもに打楽器を配り、一緒に合奏  
退場
5. チャイコフスキー作曲《クルミ割り人形Op.71a 2行進曲》／演奏形態・合奏

#### ④ 演奏者

鈴木淳之介・杉本瑞樹・吉村美咲・小川友奈・砂田梨帆・金崎真侑・西村日菜乃

#### ⑤ 展開

1 枚目, 集合写真



#### 8. 大宮交通公園

どれみふぁそったくんのメンバーが所属している合唱団でクリスマスの時期に子どもたちに演奏を届けてほしいとのことで、この依頼を受けた。本番がクリスマスイブということもあり、クリスマスにちなんだ曲を選び、一緒に手拍子などをできる振り付けをたくさん取り入れるといった工夫を行った。また、ここでは20曲ほどレパートリーをあらかじめ用意して折り紙で作ったメダルに書き、くじのようにして子どもたちに引いてもらった。そして、その曲をヴァイオリンとピアノで即興演奏するといった初めての試みを行った。

#### (2) 実施内容

①日時 2023年12月24日(日)

11時30分～12時00分

②対象 4～6歳の地域の子どもたち・その保護者・こどものあそびば活動団体の方々

#### ③演奏内容

1. 《ひいらぎかざろう》／ピアノ&合唱
2. ヴァイオリンとピアノによる即興演奏と楽器紹介／ピアノ&ヴァイオリン
3. 《クリスマスメドレー》／ピアノ&合唱

4. 祐天寺少年少女合唱団作曲《にじ》／ピアノ&合唱

アンコール

5. 米津玄師作曲《パプリカ》／ピアノ&歌

#### ⑤ 演奏者

植道栞・植田亜由美・中谷優友・細田基・今尾香月

#### 9. 華山寺 「お餅つき」

#### (1) 実施までの流れ

本構成員が華山寺の住職との交流があり、そこからどれみふぁそったくんに依頼をいただいた。地域のお子さんとその保護者を対象にしたイベントで、年末やお正月に合うプログラムを考えた。季節の歌や楽器紹介など、子どもから高齢の方が楽しめるようにした。

#### (2) 実施内容

①日時 2023年12月29日(日)

12時00分～12時30分

②対象 地域の方々(約20名)

#### ③ 演奏内容

1. 滝廉太郎作曲《お正月》/演奏形態・合唱
2. 東龍男作詞、平吉毅州作曲《気球にのってどこまでも》/演奏形態・合唱
3. フランス民謡《きらきら星》/演奏形態・フルートソロ
4. 《打楽器即興》/演奏形態・打楽器ソロ
5. アラン・メンケン作曲《ホール・ニュー・ワールド》/演奏形態・2重唱
6. アラン・メンケン作曲《輝く未来》/演奏形態・弦楽器2重奏
7. 六ツ見純代・シラー作詞、藤沢ノリマサ作曲《希望の歌～交響曲第九番～》/演奏形態・合唱

#### ⑤ 展開

1 枚目, 希望の歌



## 第4章 まとめと反省、今後の展望など

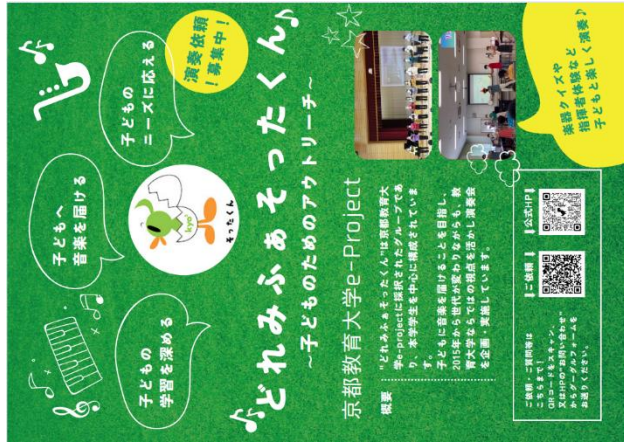
### (1) 成果

これまで3つの視点を持って活動してきた。1つ目は子どもたちに音楽体験となる機会を提供すること、2つ目は生涯学習として子どもたちに変化をもたらす機会を促すこと、3つ目には主催する側のニーズに応えることである。1つ目の子どもたちに音楽体験を提供するために、今年度は新たな方法を導入した。まずチラシとHPを作り、どれみふあそったくんの活動を広め(資料①)、専用のグーグルフォームを送信することで、演奏依頼が出来るようにした。これにより昨年度の反省としてあがっていた、依頼先が本大学の卒業生や構成員の関係者がほとんどであるという課題の解決に向かわせ、実際に今年度はグーグルフォームから依頼をいただいた。演奏をいただいた対象も、幼稚園～小学校と特別支援学校が中心であり、これから依頼をいただいているのは幼児を対象にしているものが多く、より広い年齢層をカバーできるようにしたい。今年度は9件の依頼をいただいたことは、コロナウイルスが5類になったことを含めても、評価できると考える。2つ目の生涯学習として子どもたちに変化をもたらす機会を促すためには、教科書に掲載されている曲をはじめ、学校で使用されているリコーダーや鍵盤ハーモニカ、ピアノ、木琴を使った演奏などを中心にプログラムを考えた。子どもに演奏の感動やカッコよさを感じてもらい、ロールモデルになりたいという考えからも、普段あまり耳にしなが一度聴いたら引き込まれるような曲も選んだ。器楽を演奏する際には、楽器紹介クイズを入れることで、楽

しみながら楽器の一つ一つの音に集中して聴き、声楽の際には、各音域を紹介することで自然と四声の声色の違いを認識しながら聴かせるように努めた。視覚的な面では、パワーポイントを使用し、曲や楽器に関するイラストを用いることで、自然に曲を聴ける態勢になるようにした。《大阪風お好みや焼き》では、各具材とお好み焼きを段ボール等から作り小道具を用いながらの合唱に挑戦し、とても大好評だったため手間はかかるが小道具も積極的に取り入れていきたい。3つ目の主催する側のニーズにどれだけ応えられるかにおいては、幼稚園～小学校、特別支援学校と幅広いニーズにおいて、それぞれの担当の方と話し合い各学年に応じた内容となるよう工夫した。幼児向けの演奏会「歌とお話の会」では、動物に扮して演奏会を行い、小学校向けの演奏会では、子どもが好きな曲に加えて、各楽器や声楽の魅力が引き出される曲を選んだ。南太秦小学校「50周年記念式典」では、《南太秦小学校校歌》や全校合唱《ありがとうの花》をミニオーケストラアレンジすることにより、学校全体のニーズに応えられるように努めた。そして今年度は「パノラマとラボラトリー」の皆さんと「特別支援学校音楽会」でコラボさせていただき、様々なことを学んだ。演奏会が始まる前から少しずつ音楽を流すことで、自然と演奏会へと始まり、ドラムの坪井さんの会場の空気を自分で作るというお言葉のとおり、とても明るい元気で司会進行をなされていた。演奏会の後には1時間のインタビューもさせていただき、普段の活動から子どもへの演奏会をする際に気をつけていることなどたくさんのお話を教えてくださった。これからの活動の糧にしていきたい。

資料①





(2) 課題

次年度に向けた課題は2点ある。1点目は依頼が増えたことと構成員が増えたことによる、運営の連絡不足や組織運営の課題が明らかになったことである。今年度から急激に依頼が増えたことにより、構成員の人数を増加させたが、報告が遅れ、練習が出来ないこと、学生課への書類提出遅れが目立った。これは演奏会のクオリティ低下へと直結するため早

急に解決したい問題である。そのために、去年は1人で対応していた代表の仕事を、運営という枠をつくり7人で対応することにした。そして誰でも代表者の仕事が理解できるように、マニュアルを作り、ロールモデルを確立させることを今後の目標にした。

2点目は、他大学とのコミュニティをどう持つべきかである。今年度は他大学の方が演奏に参加して下さることがあった。どれみふあそったくんには足りない楽器や人数不足の時にお手伝いとして来てくれていた。しかし、本活動は京都教育大学のプロジェクトであるため交通費などを支払うことができず、学生課との交渉次第ではあるかもしれないが、簡単には呼ぶことができない。そのため京都府などが行っている助成金などに着目し、本大学を越えて子どもに向けた演奏会の輪を広めていきたい。

<参考・引用文献>

(1) 松本 菜摘,河添 達也 (2015)「小学校音楽科における「教育プロジェクト型アウトリーチ」の授業開発研究」『島根大学教育臨床総合研究』島根大学教育学部附属教育臨床総合研究センター, pp.181-190

(2) 林睦(2009)「音楽のアウトリーチ活動に関する一考察—日本における導入 10年と今後の課題」『音楽教育学の未来』音楽之友社, pp.280-